

壮大な演歌

最近は、演歌をよく聴くようになった。

決まって、午前中はクラシック「カラヤン指揮のアダージョ」、
「ワグナー小品集」や夕方は「石原裕次郎のアルバム」、そして
夜はテレビで「演歌」を探す。

そこで、思わぬ壮大な楽曲に出会った。

「天の意のまま」という演歌？いや演歌で無いか？神野美伽が
演じている。

歌いっぷりが小気味よい女性歌手で、他に「春夏秋冬屋形船」
という江戸っ子の小粋な調子の持ち歌がある。それも気に入って
いる。

歌詞を紹介したい・・・・・・・・・・・・・・・・

人は情けと慈しみ　生きる証（あかし）は他に無い　花に生ま
れりや散ればいい　蟬に生まれりや鳴けばいい　命惜しむな惜し
むな命　天の意のまま　俺は俺

百年の夢見れど　すべて大地（つち）に還り　人間（じんかん）
到るところに青山ありと

・・・・

とりわけ感じ入ったのは、「人間（じんかん）到るところに青山
（せいざん）あり」。※人間は人の世、青山は骨を埋めるところ

世界は広い。どこにでもチャンスは有る。例え逆境に置かれて
も、将来を悲観せず広い世界で自分の可能性を信じて努力すれば、
必ずや道は開ける前向きのメッセージだ。

やや、カんだか。

（いや、その意気でちょうど良い）